

隊長統率方針  
「即応完遂」  
隊長要望事項  
「組織力の発揮」



## 第五代特科隊長西島一佐 着任

### 着任のご挨拶

#### 第十一特科隊長

#### 一等陸佐

にし じま ひで お  
西 島 秀 郎

第五代第十一特科隊長として着任しました西島一佐です。十一特OB会、協力団体の皆様には、平素から格別なご支援、ご声援を頂きまして、深く感謝しております。

第十一特科隊に対しては、第二特科連隊第五大隊長（旭川）の時に、多数の十一特出身の隊員が大隊の原動力として活躍していた事、そして自分の父が第十一特科連隊第一大隊長（滝川）だった事から、特別な思いがあり、自分の人生の集大成として、着任すべくして着任したという感じがします。

第十一特科隊は、十一という漢字を一つに重ねると「士」（さむらい）と読めますので、「さむらい特科隊」とも言えると思います。その名に恥じぬよう、これまで先輩方が積み重ねた偉業を受け継ぎ、他の特科部隊に負けないよう練度を高め、有事に真に戦える特科隊として、旅団の総合戦闘力発揮の一翼を担い、情報と火力の連携により、旅団の戦闘を主導できる部隊を練成したいと考えております。十一特OB会、協力団体そして隊員家族を含め、皆様との信頼関係もより深めていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

#### 主要勤務歴紹介

第十二特科連隊（宇都宮）  
補給統制本部（十条）  
第二地对艦ミサイル連隊第一中隊長（美唄）  
陸上幕僚監部監理部総務課（市ヶ谷）  
研究本部（朝霞）  
防衛監察本部総務課企画室情報分析専門官（市ヶ谷）  
陸上幕僚監部監理部総務課（市ヶ谷）  
第二特科連隊第五大隊長（旭川）  
幹部学校教育部（目黒）  
第一特科団高級幕僚（北千歳）

#### プロフィール

出身 北海道  
年齢 昭和四十二年生まれ  
趣味 読書  
四十八歳



(発行所)  
11特OB会  
(連絡先)  
札幌市南区  
真駒内17番地  
第11特科隊  
広報援護室  
TEL (011)-581-3191  
内線2645  
(印刷)  
札幌造型合同会社



#### 主な記事

二面 第67回さつぽろ雪まつり協力他  
三面 冬季各種訓練・各銃剣道大会他  
四面 関口隊長離任・隊内生活体験他

五面 定年退官者・定期異動者等紹介他  
六面 広告記事・連絡事項他

## 平成28年熊本地震の発生に伴う災害派遣



▲物資を取りにきた子供たちと（25日）

陸路組 苫小牧東港へ向け出発（右上）

空路組 空自千歳基地より出発



隊は、平成28年4月18日から熊本県を中心に発生した「平成28年熊本地震」に伴い、第11旅団生活支援隊（第3多目的中隊・長は本部管理中隊長）として81名（車両28台）が出動した。現地では、様々な任務（行方不明者搜索、物資輸送、給水支援、がれき撤去等）が予想されるため、17日それに応じた準備を整え、18日苫小牧東港よりフェリーで敦賀へ、一部は翌日、空自千歳基地より空路でそれぞれ熊本へ出発し支援を開始した。（4月26日現在）

# S TV広場に「進撃の巨人、サッポロ襲来！」完成



原画を基に隊員が作成した  
1/40スケールの模型



細部までこだわりを持って  
作業を続ける隊員達



暗闇に浮かび上がる巨人の迫力に歓声上がる！

## 雪像見学会



ステージ上で雪像を見上げる隊員家族の皆さん

隊は、平成28年1月31日、隊員家族及び協力会の皆  
様を対象とした毎年恒例の雪像見学会を実施した。  
今年には約250人の方が参加し、1/40の雪像模型  
と説明用パネルにより、制作のこだわりや雪像の見ど  
ころ(ポイント)など、制作隊長(本部管理中隊長)  
の「熱い」説明の後、隊員しか立ち入れないステー  
ジ上において、制作風景の見学や直接雪像に触れ雪像制  
作の一部を体験した。  
小さなお子様の中  
には、巨人を見上げ  
て「おっかしい、す  
ごい。」と歓声を  
上げ、お母さんに抱  
き着き喜ぶ場面もあ  
り、周囲を和やかに  
させた。  
また、当日は天候  
にも恵まれ、青空を  
バックに雪像との記  
念撮影をするなど大  
盛況の内に終了した。



「エイエイ！僕にも出来たー!!」

## 第67回さっぽろ雪まつり協力 圧巻の雪像が 来場者を魅了！

隊は、平成27年10月13  
日から平成28年2月12日  
の間、札幌市大通り西4  
丁目(S TV広場)にお  
いて、第67回さっぽろ雪  
まつり協力を実施した。  
今年の雪像は、人気マ  
ンガ「進撃の巨人」に登  
場する巨人たちが「架空  
都市サッポロ」に出現す  
ると言うテーマで、第11  
偵察隊、第11高射特科中  
隊と共同で制作をした。  
今回の特徴は、札幌を  
象徴する北海道庁(赤れ  
んが庁舎)と時計台の間  
でリアルな2体の巨人が  
対峙するデザインと、今  
までに前例の無いステ  
ージを破壊してせり出した  
右手の迫力がポイントで  
あった。そのため右手部  
分から見上げたアングル  
に人だかりができ、人気  
の撮影スポットとなつた。  
雪まつり期間中、隊員  
によって真っ白に維持さ  
れた雪像は、昼夜を問わ  
ず市民及び観光客に感動  
を与え、その結果大通り  
会場での来場者数は、前  
年を上回る約19.6万人  
(第44回以降歴代3位)  
を記録し無事終了した。



やまぶき会総会及び懇親会参加の皆様との記念撮影

平成28年1月31日、  
やまぶき会総会及び  
懇親会が東京ドーム  
ホテル札幌において  
行われた。  
総会は役員の就任  
等の報告がされた後、  
引き続き懇親会が行  
われ、特科隊の活動  
内容をスライド鑑賞  
する等、終始和やか  
に進み盛会の内に終  
了した。  
また、総会前には  
伏木会長を始めとし  
る7名の方が雪まつ  
り会場を訪れ、雪像  
制作中の隊員達に激  
励を賜った。

## やまぶき会総会・懇親会

## 平成27年度旅団指揮所訓練



注

図上において指示を出す第3科長

隊は、平成28年2月16日から19日の間、北海道大演習場西岡地区及び真駒内駐屯地において、冬季戦技能力の向上及び冬季における部隊運用の資とするため隊冬季訓練を実施した。

まず、16日・17日の2日間でスキー行進・曳航訓練が行われ、行進要領及び滑走・曳航技術の練度向上を図るため、演習場内の不整地において、総重量10キロを超える装備を装着し、約5時間にわたる訓練を実施した。引き続き18日・19日の2日間で、各中隊長計画による訓練展示を実施し、冬季における行動の認識の統一を図った。

特に、旅団司令部及び各普通科連隊との連携・調整を実施するとともに、継続的な火力戦闘を実施するための火力運用及び先行的・計画的な部隊運用を実施した結果、当初の目的を達し、訓練を終了した。

注：保全上の理由で画像処理しております。

## 北海道南部地区銃剣道選手権大会

隊は、平成28年3月12日、滝川市スポーツセンターにおいて、第20回北海道南部地区銃剣道選手権大会に参加した。団体戦第2部に2個チームがエントリーし、両チーム白熱した試合を繰り広げた結果、特科隊Aチームが準決勝まで勝ち進み、第3位の成果を収めた。選手達は試合後、隊長より労いの言葉を頂き、来年度に向け更なる練度向上を誓った。



## 北海道銃剣道選手権大会

隊は、平成28年4月2日・3日の両日、真駒内セキスイハイムアイスアリーナにおいて、第56回北海道銃剣道選手権大会に参加した。

各選手は、団体戦・個人戦にエントリーし白熱した試合を繰り広げた。特に、団体戦成年第2部では、準々決勝で特科隊AチームとBチームが激突し、大将戦までもつれ込む一進一退の試合を展開した。

その激しい試合を3勝2敗で制したAチームが、その後の試合で、第3位入賞を果たした。



## 隊 冬 季 訓 練



雪上車による曳航（ジョーリング）訓練



本部管理中隊 訓練展示「負傷者救護」アキオによる後送

各中隊訓練展示項目

本部管理中隊  
「負傷者の救護」  
アキオによる後送  
雪上車への搬入

第1中隊  
「警戒」 安全化要領

第2中隊  
「築城」 歩哨掩体

第3中隊  
「偽装」 火砲の偽装

訓練展示を実施し、冬季における行動の認識の統一を図った。

## 幹部任官行事



アキオ曳航によるスキー行進



力強く決意表明する任官者



激励に集まった隊員との記念撮影

隊は、平成28年3月19日、3等陸尉任官者（原3尉・坂本3尉）に対し幹部任官行事を実施した。行事は、積雪寒冷地部隊の幹部自衛官に任官することをあらためて認識させることを目的に、早朝から集まった激励者及び家族の見守る中、スキー機動（滑走・アキオ曳航）で、幹部自衛官としての気合を見せ、その後、任官式で階級章の授与を受け、力強く宣誓及び決意表明をした。

二人は、集まった多くの隊員達から激励を受け、幹部自衛官としての第一歩を踏み出した。

## 隊内生活体験支援



駐屯地内を10km行進する隊内生活体験参加者



衛生隊員による負傷時の  
応急処置要領の伝授 (救急法課目)

隊は、平成28年4月4日から6日の間、極東高分子株式会社  
の隊内生活体験を  
実施した。  
参加者の規律心の  
涵養、協調性の向上  
に寄与しつつ、自衛  
隊に対する理解と信  
頼感の醸成を図った。  
参加者からは、

「自衛隊は怖いというイメージがありまし  
たが、本体験を通じ訓練は厳しく怖い所も  
ありましたが、その他ではとても親切で優  
しく接して頂き自衛隊に対するイメージが  
変わりました。」と言った感想を頂き、担  
当した教官・助教は、達成感を得ることが  
出来た。

最終日には14名全員が、来隊時とは別人  
のような顔つきと大きな声で、終了式を終  
え、清々しい笑顔で駐屯地を後にし、3日  
間の隊内生活体験を無事終了した。

## 曹友会 家族スキー教室



平成28年1月15日、16日の両日、  
隊曹友会(会長 城崎曹長)は所属  
隊員の家族を対象にFuji Ski場(札  
幌市藤野)で、家族スキー教室を開催した。  
曹友会主催のこの教室は、今年で7回目  
を数え、隊所属のSAJ指導員、準指導員  
及び、部隊スキー指導官等の資格を保有す  
る隊員が懇切丁寧に教えてくれる人気の教  
室とあって、今年は、20組47名の家族が参  
加し、子供たちは楽  
しく上達でき、保護  
者の方々は家族間の  
親睦を深める良き場  
になっていた。  
今年もどんどん上  
達していく子供や、  
それを見る保護者の  
方にも大いに楽しん  
で頂き、笑顔が絶え  
ることなく2日間の  
日程を無事終了した。



## 第4代特科隊長 関口1佐 離任

隊は、平成28年3月22日、第4  
代特科隊長関口景1佐の離任行事  
を実施した。  
当日は、空気の澄んだ快晴のも  
と、駐屯地東体育館で離任式を行  
い、離任の辞において2年8ヵ月  
の在任間を振り返るとともに隊員  
への労い、感謝及び激励を述べら  
れた。  
その後、慰霊碑で献花を行い、  
見送りに集まっ  
た隊員一人ひと  
りと握手し言葉  
を交わされ、慣  
れ親しんだ真駒  
内駐屯地を後に  
され、次なる任  
地(目黒)であ  
る統合幕僚学校  
(国際平和協力  
センター長)へ  
向われた。



### 第5代副隊長紹介

2等陸佐 押本 直樹



### 第1中隊長紹介

3等陸佐 三井 秀人



### 第3中隊長紹介

3等陸佐 北條 則幸



### 中隊長 要望事項

「前向きに行動せよ！」

出身地 北海道  
前勤務地 富士学校(富士)  
年齢 34歳(昭和56年生)  
趣味 剣道

### 中隊長 要望事項

「前へ」

出身地 愛知  
前勤務地 第1特科隊(北富士)  
年齢 42歳(昭和49年生)  
趣味 ゴルフ

一月昇任者紹介

- 准陸尉へ  
田島 良一 (本部管理中隊)
- 陸曹長へ  
金湖 朋之 (本部管理中隊)
- 一等陸曹へ  
高橋 宏之 (本部管理中隊)  
佐藤 万昭 (本部管理中隊)
- 二等陸曹へ  
宇津野 孝博 (第一中隊)  
北 顕 (第二中隊)  
森谷 光浩 (第三中隊)  
村上 徹行 (第三中隊)
- 三等陸曹へ  
石田 雅則 (第一中隊)
- 陸士長へ  
増井 貴博 (本部管理中隊)  
杉原 栞 (第一中隊)  
藤本 拓郎 (第二中隊)  
相川 卓斗 (第三中隊)  
長田 佑也 (第三中隊)  
保田 元気 (第三中隊)  
田中 柊多 (第三中隊)  
金川 淳希 (第三中隊)  
北村 紀賢 (第三中隊)
- 一等陸士へ  
小川 むつみ (本部管理中隊)  
佐藤 陽介 (本部管理中隊)  
及川 克久 (本部管理中隊)  
小名木 優貴 (第一中隊)  
伊藤 正和 (第一中隊)  
柏野 翼 (第二中隊)  
林 健斗 (第二中隊)  
露木 竜也 (第三中隊)  
小林 翔太 (第三中隊)  
瀬口 貴愛 (第三中隊)  
吉川 誠一郎 (第三中隊)  
原口 駿 (第三中隊)

転出者紹介

- 隊本部  
三等陸佐 元流 吉則  
第十一旅団司令部 (真駒内)へ  
一等陸尉 前川原 紘史  
防衛大学校 (横須賀)へ
- 本部管理中隊  
准陸尉 田島 良一  
札幌地方協力本部 (札幌)へ  
一等陸曹 渡邊 和人  
航空学校 (霞ヶ浦)へ  
一等陸曹 竹山 真次  
第一陸曹教育隊 (俱知安)へ  
一等陸曹 山野 尊弘  
札幌駐屯地業務隊 (札幌)へ  
一等陸曹 高橋 宏之  
第二特科連隊 (旭川)へ
- 第一中隊  
三等陸佐 津田 尚樹  
陸上幕僚監部 (市ヶ谷)へ  
三等陸曹 橋本 太一  
第六特科連隊 (郡山)へ  
三等陸曹 林 郁也  
高等工科大学校 (武山)へ
- 第二中隊  
二等陸曹 石原 博之  
第五特科隊 (帯広)へ  
第三中隊  
三等陸佐 佐々木 英壽  
富士学校 (富士)へ  
二等陸曹 本田 省起  
第二特科連隊 (旭川)へ  
陸士長 高田 光貴  
札幌病院 (真駒内)へ

転入者紹介

- 第四特科群 (上富良野)  
一等陸尉 山口 春喜  
隊本部へ
- 東北方面特科隊 (仙台)  
三等陸曹 都郷 恭明  
本部管理中隊へ
- 第十一旅団司令部付隊 (真駒内)  
三等陸曹 太田 高行  
本部管理中隊へ
- 第二特科連隊 (旭川)  
三等陸曹 高橋 悠也  
本部管理中隊へ
- 冬季戦技教育隊  
陸曹長 能登 直  
第一中隊へ
- 第五特科隊 (帯広)  
二等陸曹 川田 和俊  
第二中隊へ
- 第八特科連隊 (北熊本)  
二等陸尉 岩崎 慎吾  
第三中隊へ
- 第六特科連隊 (郡山)  
二等陸曹 麻山 隆司  
第三中隊へ
- 第二特科連隊 (旭川)  
二等陸曹 前田 浩貴  
第三中隊へ
- 第六特科連隊 (郡山)  
三等陸曹 福士 豊  
第三中隊へ



第四代 特科隊 副隊長  
故林 茂和 2等陸佐

去る平成28年2月2日、享年47歳の若さで突然旅立たれました。我々は、素晴らしい副隊長に出会えて本当に幸せでした。  
また特科隊に対し多大な功績を収められたことにこの場をお借りして感謝いたしますとともに、謹んで心よりご冥福をお祈りいたします。 隊員一同

定年退官者紹介



寺島 曹長  
平成28年2月25日付  
(札幌市内)



村田 2佐  
平成28年2月27日付  
(札幌市内)

永きに渡る北の防人 大変お疲れ様でした。  
( )内については、退職後の居住地

Webでも第11特科隊の  
最新の活動状況がご覧いただけます！  
まずは **11特** で検索!!

第11特科隊  
ホームページアドレス

[Http://www.mod.go.jp/gsdf/nae/  
11d/organization/images/tokka/  
index.html](http://www.mod.go.jp/gsdf/nae/11d/organization/images/tokka/index.html)



## 平成28年度自衛官等募集内容

- ・一般幹部候補生  
資格:22歳以上26歳未満の者
- ・予備自衛官補一般  
資格:18歳以上34歳未満の者
- ・自衛官候補生(男子)  
資格:18歳以上27歳未満の者  
受付期間:年中通じ行っております。  
試験日:受付時にお知らせします。

**\* 受付期間、試験日等の詳しい内容につきましては、  
「自衛官募集HP」をご覧ください。**

防衛省自衛隊札幌地方協力本部南部地区隊  
〒005-0008 札幌市南区真駒内17番地  
携帯 070-6591-0626 又は 090-3398-9522  
広報官 米田博文(11特OB会 副代表幹事)

## OBの方への連絡とお願い

### 一 入門証について

現在、期限切れの入門証をお持ちの方で今後も必要とされる方は、更新手続きをお願いします。手続きに関しては、「特科隊広報・援護室」にて行っています。

電話〇一一五八一―三一九一(内線二六四七)  
担当 松山

### 二 叙位及び死亡叙勲に関する手続きについて

自衛隊員として勤務され、在職中の功績と一定の要件が満たされた方は叙勲の対象となります。特に死亡叙勲は、ご遺族からの申し出によって手続きを進める事になりますが、手続きの期間が限られており、この期間を過ぎますと叙勲が受けられなくなりますので、万が一ご本人が亡くなられた場合には、死亡日を含め五日以内に最寄りの防衛省各機関、部隊等へ連絡することをご家族共々くれぐれもお忘れの無いようお願いいたします。

### 三 その他

特科隊舎一階には特科連隊時代の歴史を展示した広報展示室がございます。ご訪問の際にはお気軽にお立ち寄りください。

### 【OB会事務局より】

本年度OB会発足30周年を迎えるにあたり、会員の皆様の中に過去の写真・資料等お持ちの方がおられましたら、ぜひOB会事務局までご連絡ください。

電話〇一一五八一―三一九一(内線二六四六)  
担当 森山